

日本株：リスク回避の高まりを受け日経平均株価が5日続落

■ 日経平均株価は1,000円超の下げ

連休明けとなった25日の東京株式市場はほぼ全面安、日経平均株価は1年3ヵ月ぶりに2万円を割り込み、下落幅は1,010円45銭に上りました（図1）。米国では暫定予算が不成立となり一部政府機関が22日から閉鎖、政治混乱による米国株の下落の影響が大きく、景気の先行き不透明感、円高も下落に拍車をかけました。

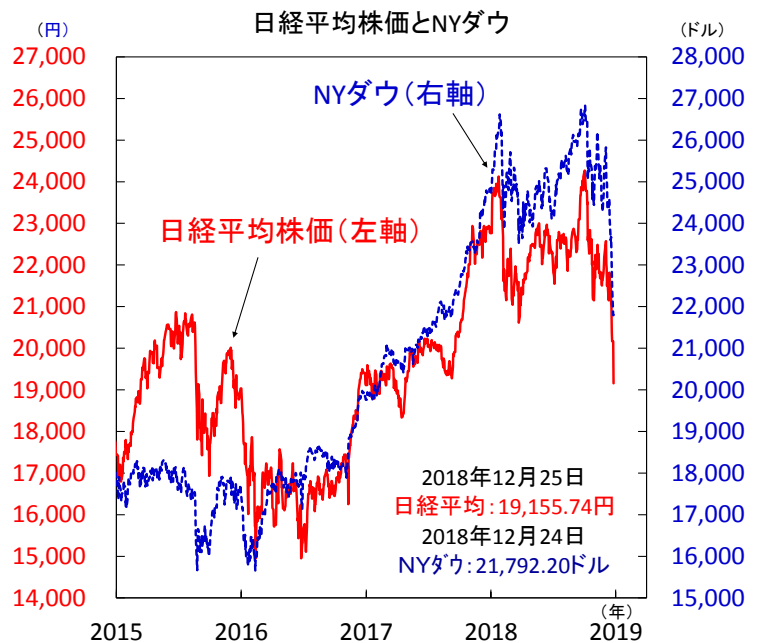
■ 当面は不安定な動きが続く見通し

日経平均株価は今年10月2日の年初来高値24,270円から2割以上下落し弱気相場入りしました。市場で恐怖指数といわれるVIX指数は2015年8月、2018年2月同様に急上昇、株式相場が当面不安定な展開が続くことを示唆しています（図2）。比較的落ち着いたドル円相場も円高が進行しており、円高・株安の悪循環が懸念されます。

■ 株価は短期的には売られ過ぎの水準

日経平均の予想EPSは年初来高値圏にあり、株価は短期的には売られ過ぎと判断しています。予想PERは25日に11倍を下回り、約6年半ぶりの低水準となった見込みです（図3）。予想PERは2012年以降の平均を大きく下回り、来年度の大幅減益を織り込む水準まで低下したとみる事もできます。ただ、来年も世界経済はプラス成長を維持し、金融正常化はより慎重に行われる公算が高いため、過度な懸念は緩和に向かう見通しです。（向吉）

【図1】米国株大幅下落を受けて、日経平均株価は1,000円を超える下落



注) 直近値は日経平均株価が2018年12月25日終値、NYダウが同年12月24日終値。
出所) Bloombergより当社経済調査室作成

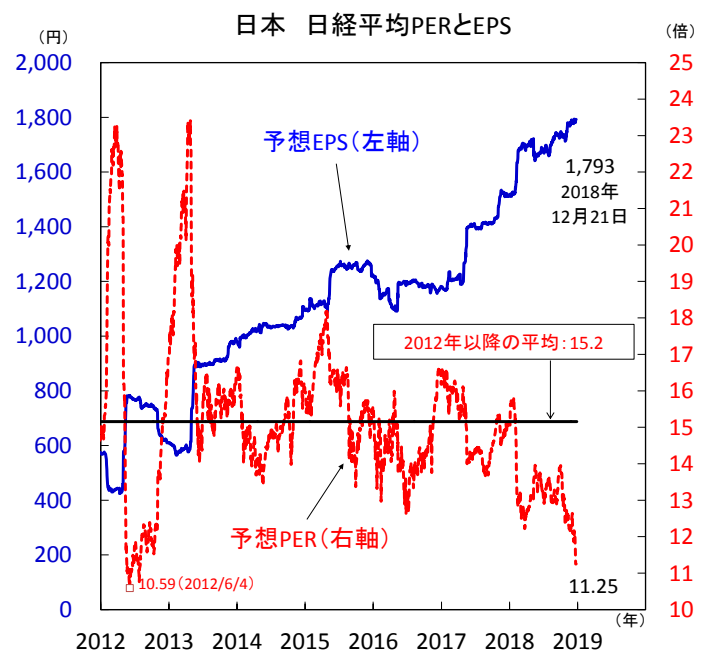
【図3】日経平均の予想PERは11倍割れの見込み、11倍割れとなれば2012年7月以来

【図2】ボラティリティ指数が急上昇、リスク回避の動き



注) 直近値はドル円相場が2018年12月25日、VIX指数が同年12月24日。VIX指数はS&P500対象のオプション取引を元に算出、投資家心理を示す数値として利用。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成



注) 直近値は2018年12月21日。EPSは一株当たり利益、PERは株価収益率(株価=EPS×PER)。2018年12月25日の株価: 19,155円を21日の予想EPSで割れば10.69倍となる。

出所) Bloomberg、日本経済新聞より当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJ国際投信戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJ国際投信が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
VIX指数は、シカゴ・オプション取引所が所有する登録商標です。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会